

伊賀市議会だより

No.81
2025.5.1

行ってみよう 聞いてみよう！

<主な掲載内容>

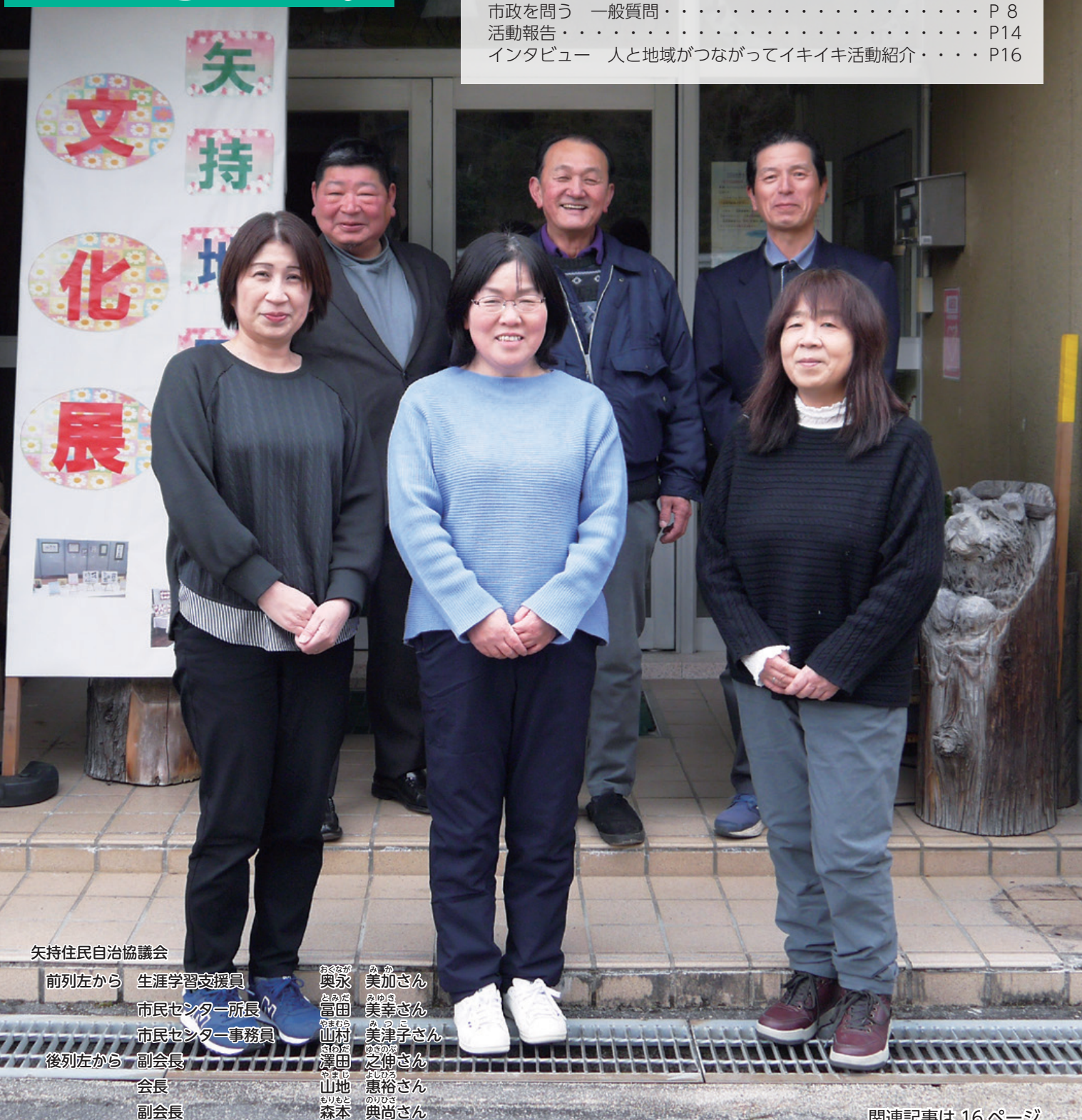
特集 令和7年度一般会計予算・・・・・・・・・・ P 2

2月定例会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

市政を問う 一般質問・・・・・・・・・・ P 8

活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・ P14

インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介・・・・ P16



矢持住民自治協議会

前列左から 生涯学習支援員

市民センター所長

市民センター事務員

後列左から 副会長

会長

副会長

奥永
とみだ
富田
山村
さゆ花
澤田
やまじ
山地
もりもと
森本

美加さん
美幸さん
美津子さん
之伸さん
恵裕さん
典尚さん

「継承と変革・伊賀の夜明け予算」

予算議案は、議長を除く全議員で構成する予算常任委員会に付託され、

こどもが育つ、大人も育つ

【主な事業】

子ども医療扶助費 2億7,613万6千円

子育て世帯の経済的負担軽減のため、医療機関での窓口無料対象を18歳まで引き上げ、子どもの医療費を助成する。

検診業務等委託料 264万8千円

中学校3年生を対象に、学校検尿検査等において尿中ヘリコバクター・ピロリ菌検査を実施する。

フリースクールで学ぶ子どもたちへの支援事業補助金 240万円

不登校児童生徒の通いの場を確保し、社会的自立を図ることを目的として利用する児童生徒保護者に対して月額上限2万円を補助する。

保育士等就労助成事業費補助金 300万円

不足する保育士の定着や確保を推進するため、私立の保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、新規採用された保育士等を対象に最大3年間で上限30万円の就労奨励金を交付する。

持続可能なまちを未来へ

【主な事業】

地域拠点産科医療機関支援事業費補助金 1,095万円

分娩にかかる地域拠点となる産科医療機関の機能を維持継続するため、伊賀地域で分娩を取り扱う医療機関に対して補助金を交付する。

市道新設改良工事費 2億2千万円

印代山神線（山神橋）の橋脚工事及び橋台工事を行う。

環境保全型農業直接支払交付金 708万5千円

環境負荷の軽減に配慮した農業生産方式の普及を行うため、環境保全に効果の高い取り組みを行う農業経営体に対し、その構成員の取組面積に応じた支援を行う。
令和7年度は有機農業に取り組む事業対象圃場を拡大する。

にぎわい忍者回廊P F I 業務委託料 5億8,784万7千円

にぎわい忍者回廊創出P F I 事業の特定事業である旧上野市庁舎改修整備事業を委託する。

ゆめが丘団地・市部駅間シャトルバス実証運行業務委託料 891万7千円

ゆめが丘団地と市部駅を結ぶシャトルバスを運行させ、ゆめが丘団地に居住する方や通勤する方の通勤・通学の移動手段の転換を図る。

上野市駅前夜間交通実証運行業務委託料 704万7千円

上野市駅前に、夜間タクシーを待機させることで、飲食店・ホテルなどへの移動手段を確保する。



対話からはじまる参加と協働

【主な事業】

電話医療相談サービス委託料 1,925万3千円

救急医療や応急処置、健康相談等も含めた相談に24時間対応する「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」の業務委託を行う。

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会負担金 1,436万6千円

日本遺産の認定を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、「大阪・関西万博」開催により観光客が増加すると見込まれる関西圏へのプロモーションや、魅力ある観光拠点の整備等に取り組む。

基本構想策定業務委託料 1,232万円

ごみの適正処理の確保に向け、伊賀市・名張市・笠置町・南山城村が連携して、ごみ処理体制の広域化について検討する。

469億260万8千円を可決

昨年度より4億3,586万5千円の増

を議会が厳しくチェック

check!



3月13日、17日、18日の3日間にわたって審査を行いました。

一般会計予算にかかる質疑（予算常任委員会 3月13日、17日、18日）

歳出

防犯事業経費・地域防犯カメラ設置支援事業補助金 150万円

問 上限15万円の根拠及び対象は。

答 屋外型防犯カメラの相場が20万円から25万円程度であり、既に制度を導入している県内の自治体を参考にしました。対象は各自治会です。維持管理経費は自治会負担となります。

図書館管理経費・上野図書館業務委託料 5,308万4千円

問 新図書館への移転スケジュールは。

答 令和8年4月開館に向け、令和7年4月から10月末までは通常開館します。
令和7年11月1日から令和8年3月末日まで引っ越しのため閉館し、図書の整備、システムの構築、データ登録等を行います。貸し出し・返却についてはシステム上の理由でできないが、分館での貸し出し・返却ができるように調整したいです。

歳入

財政調整基金繰入金 14億7,276万1千円

問 財政調整基金の使途内容は。

答 財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡の調整や、災害時の初動対応経費等に充てるものです。
令和7年度の使途は、基幹システムの標準化経費、児童手当扶助費、GIGAスクール構想端末購入費等です。



附帯決議提出

※附帯決議：議案を議決するにあたって議会の希望意見として付するもの。

発議第6号 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議

（抜粋）議案第4号令和7年度伊賀市一般会計予算に計上されている、たまたき保育所の運営にかかる経費については、以下の点に留意した執行等を求める。

賛成多数で
可決

- (1) たまたき保育所の運営に関しては、これまで数年間をかけ説明と協議を行ってきた結果、保護者をはじめ、玉滝地域住民の大半がたまたき保育所の統合を了承してきた経緯がある。今後のたまたき保育所のあるべき姿を令和7年度1年間で検証すること。検証内容については、事前に議会と協議し、検証結果を速やかに議会に報告すること。
- (2) 園児1人当たりの保育に係る費用単価については、伊賀市内の公立保育所の中で格段に高額となっている。伊賀市全体で保育の必要な場所に保育士を配置することを考慮し、中長期的な視野に立ち財源確保が可能な保育所（園）のあり方を検討する必要がある。保育所（園）民営化計画を白紙に戻すのではなく、議会の意見を十分に反映させ、民営化計画を策定すること。
- (3) たまたき保育所と玉滝地区市民センターの移転問題は表裏一体であり、保育所が継続することでかなわなくなる。玉瀧地区、槇山地区双方が納得する移転先を令和7年度中に選定を行い速やかに移転に向けた協議を実施すること。

附帯決議にかかる経費

- 1 消防設備等保守点検業務委託料
- 2 紙おむつ収集運搬業務委託料
- 3 保育所管理運営事業
- 4 短時間勤務会計年度任用職員人件費

発議第7号 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議

（抜粋）議案第4号令和7年度一般会計予算に計上されている、西柘植地区市民センターの維持管理にかかる経費については、以下の点に留意した執行等を求める。

賛成多数で
可決

- (1) 維持管理経費のうち、光熱水費が指定管理料の約三割を占めている。光熱水費縮減に向けた維持管理方法の見直しを図ること。
- (2) 光熱水費の縮減が見通せず支出が続けば、市民センターとしての利用と建物の規模との釣り合いがとれない。あらゆる方向から見直しを図り、施設のあり方について検討すること。

附帯決議にかかる経費

- 1 西柘植地区市民センター指定管理料

2月定例会議における採決（3月25日）の様子は、市議会ホームページから伊賀市議会チャンネル（YouTube）でご覧いただけます。



伊賀市体育施設条例の一部改正

全員賛成で
可決

大山田東グラウンド、大山田東体育館の利用状況、利用形態等を総合的に検討し、現在の指定管理者の指定管理期間満了に合わせて市の体育施設としての用途を廃止し、関係地域に無償貸付を行います。

質 疑（総務常任委員会 3月10日）

問 無償貸付後、避難所としての取り扱いはどうなるのか。

答 スポーツ施設からは一旦外れ普通財産となるが、地域活用したいということであれば、利用施設として引き続き指定避難所を継続いたします。

問 無償貸付期間中の日常的な整備や規模の大きな修繕の費用はどうなるのか。

答 日常的な修繕については、契約書を交わすにあたって細部を地域と調整中です。大きな規模の修繕は、その都度協議したいと思います。

伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

賛成多数で
可決

市が行う、し尿収集運搬・処分について手数料を、基本料金 1,075 円から 1,225 円、加算料金 18 リットルにつき 215 円から 245 円に改定を行います。

質 疑（総務常任委員会 3月10日）

問 改定による歳入の増加分は。

答 手数料を改定すると、収集量からは約 725 万円の歳入増となります。

問 民間の手数料の設定は把握しているか。

答 民間の汲み取り費用は、市に沿った金額です。今回の改定が認められると民間も同様に改定が見込まれます。

討 論（総務常任委員会 3月10日、本会議 3月25日）

反 対 物価や人件費高騰の影響は理解するが、その分を市民に転嫁し公共料金の引き上げをするのではなく、伊賀市の一般会計全般の財政支出の精査、見直しで対応することを求め議案に反対します。

伊賀市国民健康保険税条例の一部改正

賛成多数で
可決

近年の医療費・健康保険制度の動向、国民健康保険事業特別会計の収支状況、基金残高等を踏まえ、国民健康保険税の税率等を変更します。

質 疑（教育民生常任委員会 3月11日）

問 税率の引き上げについて、団塊世代が後期高齢に入りつつある影響も多いと思うが、1番大きな要因は何か。

答 収入が減っていることの大きな要因は、加入者の所得が伸び悩んでいることです。また、被保険者数の減少が著しいと、税収も下がり、それに対して医療費は抑制されていないという状況です。

討 論（本会議 3月25日）

反 対 国民健康保険税の高さは限界です。伊賀市として何らかの独自軽減策に踏み切るべきです。また保険税の引き上げでなく、国庫負担の引き上げこそ求めていくことが必要です。

賛 成 支援制度の活用、運営の効率化、収納率の向上など、保険税負担をできるだけ抑える努力は引き続き求め、賛成します。

委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

農業委員会の会長・会長職務代理者・委員及び農地利用最適化推進委員の月額報酬をそれぞれ3万円、2万5千円、2万円に、教育支援委員会委員の専門医師の報酬を月額1万5千円に改正します。

質 疑（産業建設常任委員会 3月7日）

問 農業委員会委員の増額幅の根拠は。また、現在地域計画策定による業務負荷が増加しているが、地域計画に関する業務量の算定は。

農業委員会委員等の能率給の追加はあるのか。また、改正により報酬総額は年間どの程度増額になるのか。

答 農地転用の数、月次総会や研修会等出席時間数に昨年10月から変更になった三重県の最低賃金を乗じて計算しています。地域計画策定のための相談業務や調査活動進捗など、月5回程度、1回1時間、計5時間の計算で算定しています。能率給については、基本給に各々の業務の量に応じて加算することになり、令和7年度当初予算については、前年度予算と比較して960万円の増額です。

問 教育支援委員会の専門医師の現状と、活動内容は。

答 発達支援の必要な児童の診断のため、専門医師については、小児科医1名と精神科医1名の方をお願いしています。今後も、医師を確保すべく今回の改正を検討しました。また、委員会は、年間5回の開催を予定しています。

討 論（産業建設常任委員会 3月7日）

賛 成 農業委員会委員等については、現場で動いている皆さんの後押しになるよう今後も研究をしながら進めていただきたい。教育支援委員会委員については、専門的な見地からの検討が必要だが、人材不足という中で難しくなってくることを想定し、年間を通じた基本給的な考えも研究していただきたい。

伊賀市人・農地プラン検討会議設置条例の廃止

全員賛成で
可決

農業経営基盤強化促進法の改正（令和5年4月施行）により、これまでの人・農地プランに代わり地域計画が法定化されたため、これまでの人・農地プランの検討会議を廃止します。

質 疑（産業建設常任委員会 3月7日）

問 人・農地プラン検討会では様々な立場から各地域の計画について検討が行われていたが、今後、地域計画についても同様の検討の場を設ける予定はあるか。

答 人・農地プラン検討会議では、伊賀ふるさと農業協同組合、伊賀市農業再生協議会、伊賀地域農業改良普及センターなどの、様々な視点を持った団体に検討していただいていた。現在、同じような組織体はないが、今後様々な視点からのチェックや助言は引き続き求めていきたいと思っています。

討 論（産業建設常任委員会 3月7日）

賛 成 この条例を廃止した上で、どの地域も取り残さないという姿勢で進んでいくことを期待して賛成とする。

事業契約の変更（伊賀市小学校給食センター整備運営事業）

全員賛成で
可決

令和7年度から配送校が増えるため調理設備等の増設を行います。運営・維持管理業務の増加に伴い人件費も増加します。

質 疑（教育民生常任委員会 3月11日）

問 自校給食から給食センター配送に変わる小学校は何校あるか。

答 小学校において、令和7年度からは自校式の給食が3校、給食センターからの配食校が15校になります。令和9年度からは上野東小学校以外の全小学校が「給食センター元気」の配食になります。

年度内事業の決算見込による減額補正ならびに国の「地域公共交通確保維持改善事業補助金」、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金」、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」、「地方債」および「ふるさと応援基金」等を財源に、下記事業などに係る経費について所要額の追加。

【歳出の主なもの】

○伊賀鉄道活性化促進事業	
伊賀線トイレ新築工事費	4,323万円
伊賀線経営安定化等基金積立金	1億493万1千円
○伊賀鉄道維持管理経費	
鉄道施設・車両設備更新工事委託料	7,609万円
○防災資機材整備推進事業	
防災資機材購入費	4,882万1千円

質 疑（予算常任委員会 3月13日）

問 伊賀線トイレ新築工事の内容は。

答 伊賀鉄道茅町駅の古いトイレについて多機能化を図るとともに駅内外から利用できるトイレとして新築します。供用は令和8年1月です。

問 鉄道施設・車両設備更新工事の内容、工事に関する考え方は。

答 伊賀鉄道「上林～比土」間を対象に線路枕木をコンクリート枕木に交換します。乗客の快適さや鉄道沿線への振動等の調査及び工法など、伊賀鉄道とも課題を共有し検討して実施します。

問 防災資機材購入の内容は。またどのような考え方で運用するのか。

答 避難所用簡易ベッドとワンタッチパーティションを市内2箇所（しらさぎ運動公園、西消防署）の倉庫に分散して配備し、災害時には集中的に動かす予定です。備蓄するだけでなく、各地域と協力して普及啓発を充実させ、有事の際、避難所運営を迅速に進められるようにしていきます。

問 合併処理浄化槽設置整備事業補助金が4,562万5千円減額となったことについて説明を。

答 当初229基分で予算計上しました。今年度172基の申請があったため、57基分の減額が生じました。汚水処理人口普及率は、農業集落排水や下水道、合併処理浄化槽などを含めて既に目標は達成できています。今後は合併処理浄化槽の啓発普及を進めていきます。

問 奨学金等支給経費886万6千円の減額理由は。また未申請の状況は。

答 高校進学率・大学進学率をふまえて当初は予算計上しました。申請率を上げるため再募集や市内高校との連携もしましたが、減額は申請がなかった方の分となっています。未申請数は伊賀市奨学金の場合、高校・大学とも50人を超える方が未申請と思われます。

問 小学校スクールバス運行業務委託料3,533万6千円ならびに中学校スクールバス運行業務委託料1,694万3千円減額の理由は。

答 成和東小学校の児童の実状により、当初2路線の予定が1路線になったことや、青山小学校にある1路線が児童減少により委託ではなく市直営の運行に変更したからです。また設計に対する落札率の関係もあり小中とも減額となりました。

質 疑（予算常任委員会 3月13日）

問 健康診断等委託料1,910万円減額の理由は。受診率は今後の国の交付金に影響するのか。

答 受診率を高めるために広報紙やホームページ、ケーブルテレビなどで周知啓発を図っていますが、減額は未受診の方の分です。国の「保険者努力交付金」の項目には昨年より受診率が上がっているかや全国平均に届いているかなどがあるので少なからずの影響が考えられます。

審議した議案と各議員の賛否

1月緊急会議

○：賛成 ×：反対 ー：赤堀議員は議長のため採決に入っていない。

件名		賛成：反対	議決結果	浅川友和	内原篤	大石亮子	陶山美佐	寺村京子	山口康子	北山太加視	西田方計	森中秀哲	福村教親	森川徹	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	上田宗久	百上真奈	中岡久徳
市長 提出議案	令和6年度伊賀市一般会計補正予算(第8号)	21：0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
	令和6年度伊賀市水道事業会計補正予算(第2号)	21：0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
	伊賀市行政組織条例の一部改正	11：10	可決	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	ー	○	○	×
議員 提出議案	議案第1号 令和6年度伊賀市一般会計補正予算(第8号) に対する修正	10：11	否決	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	ー	×	×	○

2月定例会会議

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ー：赤堀議員は議長のため採決に入っていない。

件名		賛成：反対	議決結果	浅川友和	内原篤	大石亮子	陶山美佐	寺村京子	山口康子	北山太加視	西田方計	森中秀哲	福村教親	森川徹	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	上田宗久	百上真奈	中岡久徳
市長 提出議案	令和7年度伊賀市一般会計予算	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	×	○
	令和7年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	×	○
	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	×	○
	伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	×	○
	伊賀市国民健康保険税条例の一部改正	18：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	×	○
議員 提出議案	議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議(たまたき保育所の運営にかかる経費)	13：6	可決	×	○	×	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	欠	×	○	○	○	ー	○	×	○
	議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議(西柘植地区市民センターの維持管理にかかる経費)	13：6	可決	×	○	×	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	欠	×	○	○	○	ー	○	×	○

全員賛成で可決(同意を含む)した議案

(※の議案は宮崎議員、※以外の議案は福村議員、福岡議員が欠席のため、採決に入っていない)

市長 提出議案	- 令和7年度伊賀市駐車場事業特別会計予算 - 令和7年度伊賀市介護保険事業特別会計予算 - 令和7年度伊賀市サービスエリア特別会計予算 - 令和7年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算 - 令和7年度伊賀市病院事業会計予算 - 令和7年度伊賀市水道事業会計予算 - 令和7年度伊賀市下水道事業会計予算 - 令和7年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計予算 - 令和7年度伊賀市大山田財産区特別会計予算 - 令和6年度伊賀市一般会計補正予算(第9号) - 令和6年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) - 令和6年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第2号) - 令和6年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) - 令和6年度伊賀市サービスエリア特別会計補正予算(第1号) - 令和6年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) - 令和6年度伊賀市病院事業会計補正予算(第3号) - 令和6年度伊賀市水道事業会計補正予算(第3号) - 令和6年度伊賀市下水道事業会計補正予算(第2号) - 令和6年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算(第1号) - 令和6年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算(第1号) - 伊賀市環境基本条例等の一部改正 - 伊賀市情報公開・個人情報保護審査会設置条例及び伊賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 - 伊賀市任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 - 伊賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 - 伊賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 - 伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正	- 伊賀市職員の退職手当に関する条例の一部改正 - 伊賀市職員等の旅費に関する条例等の一部改正 - 伊賀市体育施設条例の一部改正 - 伊賀市駐車場条例の一部改正 - 伊賀市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 - 伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正 - 伊賀市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 - 伊賀市短時間勤務会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 - 伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 - 伊賀市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 - 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 - 伊賀市国民健康保険高額療養資金貸付条例の廃止 - 伊賀市国民健康保険高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止 - 伊賀市国民健康保険出産費資金貸付条例の廃止 - 伊賀市国民健康保険出産費資金貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止 - 伊賀市人・農地プラン検討会議設置条例の廃止 - 事業契約の変更(伊賀市新斎苑整備運営事業) - 事業契約の変更(伊賀市小学校給食センター整備運営事業) - 市道路線の認定(桜が丘12～19号線) - 市道路線の認定(小川内番田線) - 辺地に係る総合整備計画の策定 - 教育長の任命(澤田 剛氏) - 人権擁護委員候補者の推薦(櫻本 悦子氏、菊地 晃子氏、畑出 美恵子氏、井上 順子氏、川出 敦子氏、中 ひとみ氏)
議員 提出議案	- 地方自治法第180条第1項の規定により市長において専決処分することができる事項の一部改正※ - 伊賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 - 伊賀市議会委員会条例の一部改正 - 伊賀市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	

市政を問う

一般質問

一般質問は、3月4日、5日、6日の3日間で、17人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。

二次元コードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

ももい ひろこ
桃井 弘子 議員

質問項目

- 市長の政治的スタンス（その2）
- 伊賀市応急診療所
- 不登校



問 民意をどのように政策に反映しますか

市長に投票しなかった過半数以上の有権者の民意をどのように政策に反映しますか。

答 広報広聴機能の充実が必要です

対話を重視した政策形成に取り組んでいきます。

問 サイレントマジョリティ※についての見解は

答 市政に関心を持ってもらう取り組みが必要です

問 不登校についての市長の見解は

答 子どもたちが積極的に選択した形の一つと考えます

それぞれに合った支援が必要と考えます。

問 奈良市のように教育委員会が不登校の子どもをもつ親の会を設立すべきでは

何で学校に行けないのかが分からず、子どもの将来も含め保護者も悩み不安を抱えています。不登校の子どもをもつ親の会は必要ではないですか。

答 令和7年度から始めたいです

現在各学校で取り組みはしていますが、保護者の不安は理解しています。希望する保護者を対象に令和7年度から教育支援センターにおいて親の会を開催できるように計画しています。

※積極的な発言行為をしない多数派

問 今年度、保育所（園）の私的待機を含む待機児童対策は

3歳未満の保育定員増加のための施策を教えてください。

答 私立保育園の予約保育人員への補助、地域型保育事業の充実、保育所・幼稚園等再編の在り方検討を進めます

民間の小規模保育所の設置検討、また、保育士の働き方改善にも取り組みます。

問 子育て支援センターで「保活相談会」を実施してほしい

保育所の入所申込手続きは、特に初めて伊賀市で子育てをする方にはわからないこ

とが多く、またお母さんが乳幼児と市役所に相談に行くのは大変です。各地域の子育て支援センターでの子育て教室や、乳幼児相談など、親子で出かけやすい場所や機会に合わせ、保育園入所に関する相談会を行っていただけないでしょうか。

答 今年から実施します

保育所入所相談会を10月の保育所一斉申し込み開始前の時期を目指し、子育て包括支援センター、いがまち及び青山子育て支援センターで、保育所入所相談会を開始します。

てらむら きょうこ
寺村 京子 議員

質問項目

- 「伊賀市こども計画」及び令和7年度の施政方針の保育園関連施策の行動計画
- 保活（子どもを保育園に入れるための活動）環境の改善
- 上野公園の整備計画



すやま みさ
陶山 美佐 議員

質問項目

- 介護予防事業



問 介護予防事業の取り組みは

令和7年、団塊世代が75歳以上となり、医療、介護、予防の取り組みが更に必要となります。伊賀市の介護予防事業の概要を教えてください。

答 介護予防普及啓発事業を行っています

「お達者講座」は、地域の公民館等で認知症フレイル予防を目的に講義や体操を行い、「介護予防リーダー養成講座」は、運動知識を学び運動を中心に行われ、受講修了生が主となり地域で介護予防に取り組んでいます。介護予防支援事業では、生きがいや居場所づくり、心身機能の向上を目指し、事業者へ委託し音楽療法、3B体操、

転倒予防体操等を行っています。

問 介護保険料の仕組みを教えてください

答 介護が必要になった方を社会で支える仕組みです

3年ごとに行われる制度の見直しに合わせ、高齢者人口、介護認定者数、介護サービス利用量などの推計をもとに基準額を定め、所得に応じて13段階に分けています。

一般質問

みやざき えい き
宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 新年度に向けての施政方針・予算編成方針と関連施策



問 農村と農業の振興を

農業振興には、産業振興だけでなく、農村や集落を守る「地域振興」の視点が必要です。農業をされる皆さんが住んでいる集落の存続や発展なくして、農業の振興はないと考えますが、市長の見解をうかがいます。

答 「伊賀市農業振興計画」を策定します

産業振興と地域振興の観点を取り入れながら、農業団体や農業者、地域の皆さんの意見を聞きながら計画の策定に取り組みます。

問 有機農業の推進を

有機農業を広げるためには、販売先を作ることが重要です。農産物の安定的な販売先があることで、生産拡大や新たな参入が期待できます。学校給食がその第一歩と考えていますが、有機農産物の学校給食への導入拡大について見解をうかがいます。また、保育園・幼稚園への導入はどう進めますか。

答 学校給食に使用して流通と消費を促します

学校給食への導入拡大の取り組みを進めます。また、保育園・幼稚園の給食への導入方法もしっかり検討します。

問 学校体育館にエアコン設置を

避難所となる小中学校の体育館に現在エアコンはまったく設置されていませんが、避難生活での災害関連死防止や教育活動での熱中症対策等のためエアコンを設置するべきでは。

答 空調設備整備年次計画を策定し順次工事を実施します

文部科学省の補助率2分の1の空調設備整備臨時特例交付金を活用し、令和7年度に計画を策定し、令和8年度から計画に基づいて順次工事に着手していきます。

問 地震ハザードマップの作成を

マグニチュードや震源からの距離は同じであっても地層地盤の違いによって揺れの強さは大きく異なり、地層地盤が柔らかな場所は固い場所に比べて揺れは大きくなります。こうした地層地盤の揺れやすさを表したマップを作成するべきでは。

答 検討します

まず、県のホームページで紹介されているマップを市のホームページとリンクさせます。その後、県の新たな南海トラフ地震被害想定調査にあわせて検討します。

やました のりこ
山下 典子 議員

質問項目

- 情報バリアフリー
- 伊賀市の山づくり
- 避難所となる学校体育館のエアコン設置
- 地震ハザードマップ



うち原 あつし
内原 篤 議員

質問項目

- 市民の命を守る環境整備
- 子どもが学ぶ学校環境のあり方



問 もっと市民の命を守るAEDの増設を

市民の命を守るため、24時間使用できるAEDを増やすために市内のコンビニへ設置をしてはいかがでしょうか。

答 コンビニ設置に向け今後検討します

市内にコンビニは50店舗あり、これらのコンビニは比較的市街地に集中しています。まずは各地域の公共施設に設置済の約100台を24時間対応できるように屋外設置を予定しており、今後は、コンビニへの設置も調査、研究をしていきたいと考えています。

問 救命講習会にたくさんの方が集うために

AEDの普及の必要性とともに最も重要なことは、一人でも多くの市民の方に救命処置を学んでいただくことだと考えますが、今後はどのように救命講習会を市民の皆様へ周知されますか。

答 地域のイベントなどを利用し啓発します

市民の安全を守るため、今後は、従来の広報活動に加えて、地域の防災イベント等で定例の救命講習会の日程配布及びSNSを使うなど様々な角度から広く周知を行っていきます。

一般質問

にしぐち かずしげ
西口 和成 議員

質問項目

- 持続可能な伊賀市を目指して
- 子どもたちにライフジャケット着用の推進を



問 子ども用オムツの購入助成やごみ袋支給を事業として行うべきでは

伊賀市では、高齢者用オムツなどの介護用品購入給付事業はありますが、子ども用オムツの購入補助などはありません。

安心して子育てをしていただくため、物価高騰対策として補正予算を組んでも、独自の子育て施策を実施するべきです。

答 効果等を総合的に判断し、検討します（市長）



問 水難事故防止のために、どのような指導をされているのか

学習指導要領には、小学生と中学2年生まで水泳授業は必修とあり、「浮く練習」が組み込まれています。また、愛媛県西条市の水難事故の判例では、ライフジャケットを準備して着用させる義務があったと行政の過失責任が認定されています。

答 今後もライフジャケットの有効性について各学校で子どもや大人に指導していきます

大山田小学校に約30着のライフジャケットを配置しており、他校のプール指導では、B&G海洋センターに借りながら、着用体験も実施します。

問 国旗・国歌の取り扱い

市主催の行事においての国旗掲揚の基準は設けられていますか。

また、教育現場において国旗・国歌の教育はどのように進められていますか。特に卒業式や入学式で国旗に正対せず国歌斉唱が行われており、校歌は大きな声で斉唱するのに、国歌は歌わない児童・生徒が多いのはなぜですか。

加えて、郷土教育の一環として小中学校と末就学児童に市歌を指導してはどうですか。

答 現在、市の行事において国旗掲揚に関する基準は設けていません

また、今後も基準を設けるつもりはありません。教育現場での国旗・国歌の指導については、学習指導要領に基づき、卒業式や入学式の際には国旗を掲揚していますが、設置の場所については強制するものではなく、各学校の判断に任せています。

国歌については、音楽等の授業で指導はしていますが、国歌はおごそかな曲調であるため、校歌のように大きな声では歌えないのではないかと思います。

もりかわ とおる
森川 徹 議員

質問項目

- 国旗・国歌の取り扱い
- 郷土教育



にしだ みちかず
西田 方計 議員

質問項目

- 知識や行動力の向上につながる啓発や教育は進んでいるか
- 「市民憲章」に基づいたまちづくりは進んできたか
- いま、観光誘客のためにできることは



問 差別や偏見が出生数に影響しかない「ひのえうま差別」への対応は

差別や偏見を克服するには知識認識が必要です。

答 啓発と教育を結び「社会教育教材」を用意します

子どももおとなも様々な場で学ぶことができる教材を作成し活用します。

問 市民憲章についての市長の認識は

市民憲章を前面に出し、まちづくりを進めていただきたい。

答 市民憲章に基づく市政を進めるとともに広く周知を図り、まちづくりを進めます

伊賀市の普遍的な住民自治の考え方として、本庁や支所、学校等に明示していきます。

問 名阪国道「休憩所」が有している誘客機能を観光戦略に活かしていきませんか

多くの旅行者が利用する「休憩所」を観光誘客に活かしていただきたい。

答 重要な拠点と捉えて連携を進めます

伊賀市の様々な魅力を休憩所利用者に届けられるように働きかけます。

また、市内全域を視野に入れ、効果的な誘導サイン（看板）について検討していく予定です。

一般質問

やまぐち やすこ
山口 康子 議員

質問項目

- 聞こえサポート
- 国民健康保険療養費申請
- 避難所運営



問 電話リレーサービスの周知を

聞こえない人と聞こえる人を「手話」または「文字」と「音声」を通訳する公共インフラである電話リレーサービスの周知を継続的にお願いしたい。

答 積極的に情報提供を行います

ポスター、パンフレットで案内をしていますが、今後はホームページや8月号の広報にて、情報提供します。

問 軟骨伝導イヤホンの導入を

軟骨伝導イヤホンを市役所窓口、各支所に配備できませんか。

答 窓口の設置に向けて検討します

聴覚に障がいのある方へのサポートは全庁的に取り組むべきと考えます。

軟骨伝導イヤホンは、有効な機器なので、今後窓口の設置に向けて検討します。

問 療養費のオンライン申請を

療養費は本庁窓口に出向いての申請となっていますが、オンライン申請ができませんか。

答 オンライン申請の検討をします

現状は、窓口での申請としています。

今後は窓口まで出向かなくても済むよう、郵送申請の周知やオンライン申請を検討します。

問 最適な教育環境を築くスケジュールは

答 速やかに対象となる校区を選定し協議に入ります

「学校みらい構想」の最終答申を受けた後、伊賀市学校みらい構想基本計画を策定の上、従来の「学校の統合」の他、多様な教育活動の可能性など、対象となる校区を選定し、保護者や地域の理解のもと合意形成を前提に、早急に協議を進めていきます。

問 廃校になった跡地利用の手順は

答 庁内での利活用の有無を確認します

次に地域にも問いかけますが、双方で利活用の意向がなければ、民間での活用を検討することになります。

問 ESCO事業※の契約の締結にあたり地元事業者に配慮した点がありますか

答 「地元事業者の参画が見込めるか」に留意しました

市内小中学校、道路灯、公園灯を対象としたLED化のESCO事業は民間提案制度で採用した案件ですが、地域経済の活性化の観点から「地元事業者の参画」を審査項目に採用し、一定の配慮をしています。

※省エネルギーに関する包括的なサービスを提供するビジネスモデル

う え だ のりひさ
上田 宗久 議員

質問項目

- 伊賀市学校みらい構想
- ESCO事業



もりなか ひであき
森中 秀哲 議員

質問項目

- 「戦後80年」非核平和都市・伊賀市は、未来に平和をどう伝えるのか
- 持続可能な地域産業を育てる「公契約条例」



問 苦しみ・悲しみを引き継ぐ平和教育を

第二次世界大戦を記憶に留め、平和を継承するため、25名の死傷者を数えた「丸山駅機銃掃射事件」など一般市民が死傷した事件や市内でも2,700名に迫る戦没兵士について、次代を担う子どもたちに知らせるべきです。

答 後世に引き継ぐ必要があります

令和7年度、郷土教育教材「伊賀のこと」をデジタル化する中で、戦争に関わる出来事を盛り込むよう検討します。戦後80年の節目となる今年は、戦争の悲惨さを伝える教材作成も考えています。

問 「公契約条例」で地元産業の後押しを

市が民間企業・団体に発注する工事・業務委託・指定管理などで、一定以上の賃金支払を確保する「公契約条例」。地域経済をプラスに循環させるため、制定するべきです。

答 私の公約として実現します（市長）

前市政がパブリックコメントまで取ったのに実現できず、残念でした。

地域産業がより元気に、市民生活がより豊かになるよう取り組みます。

一般質問

おおいし りょうこ
大石 亮子 議員

質問項目

- 災害時の「公助」として、避難所指定のあり方は
- 地域と共に伴走する職員の育成を
- 保育士の働き方改革と小規模保育所の活性化



問 用途廃止された公共施設(閉校した学校など)が避難所に指定されている場合の対応は

指定避難所が減ることは地域住民の災害時の不安に繋がります。

答 避難所のあり方についても地域の皆さんと協議していきます

公共施設が用途廃止される際の課題については管理している担当の部局から地域へ説明を行い、その後に施設の利活用について地域への意向調査を実施します。また、避難所のあり方についても協議していきます。

問 保育士の休憩確保についてどのように認識されているか

保育士の休憩が十分に確保できていない現状があります。働き方の改善策として休憩時の代替保育士の配置についてどのようにお考えですか。

答 休憩確保については重要課題であると考えられています

保育士資格を持っておられる方が働きやすい勤務時間となるように柔軟に対応するなど、保育士の確保に努め、十分に休憩が確保できるように体制を整えていきます。

問 伊賀市において、3月末の期限が近づく集落や地域の農地・農業を守るための「地域計画」の提出見込みは、想定内となっていますか

答 3月末で91集落の策定が進み、さらに10集落の策定意向が届いています

昨年11月から12月に開催した計5回の説明会には112集落が出席、その後、窓口への来訪等も含めると118集落となりました。この「地域計画」は市の公告によって手続きが完了となります。

3月6日時点で策定完了地区は出ていません。この後、3月末に「地域計画」が策定される見込みは91集落、さらに令和7年

度で策定意向のある集落は現時点で10集落、電話等の問合せもあり今後も増える見込んでいます。

この策定状況ですが、「人・農地プラン」からの移行は少し減少し、新たな提出集落も含めると想定内と考えています。

また、策定の基となる協議の場において、担い手を含む地域の多数の意見が反映された結果が、この計画に反映されていると考えています。

きたやま たかし
北山 太加視 議員

質問項目

- 職員の人材育成
- 地域計画
- 農地中間管理機構の利用状況



問 島ヶ原小学校・中学校、島ヶ原保育所の今後について市長の考えは

施政方針において、「学校みらい構想基本計画」を策定し、最適な教育環境のため、保護者や地域、学校、行政が一丸となり取り組む方針、また、小規模保育所を活性化し、地域と連携した特色ある保育を展開する方針が打ち出されています。

島ヶ原地域まちづくり協議会は、各施設の存続を望む声を受け、出前講座を開催し、危機感を持って行動しています。島ヶ原地域として存続へ向けて行動を継続すること、住民としてできる限りの協力を行うことが確認されていますが、市長の見解は。

答 地域の声を無視することはありません

島ヶ原小学校・中学校を含めた市内小中学校の今後のあり方については、参加と協働、対話から始まるという方針で進め、地域の声を無視していくことはありません。

しっかり関係者の皆さんと子どもたちの未来を考えて協議していきたいと考えています。

いちかわ がくと
市川 岳人 議員

質問項目

- 農業の未来
- 仕事と企業
- むらの振興



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

一般質問

あさかわ ともかず
浅川 友和 議員

質問項目

- 全ての子育て世代が利用しやすい事業の周知
- ひとり親家庭の「小1の壁」解消へ
- 「もしも」の時に利用できる避難所を



問 ファミリーサポートセンターとは
仕組みを教えてください。

答 お子様を預かったり、保育所や習い事等への送迎ができます

子育てを手伝ってほしい依頼会員に対し、子育てのお手伝いができる提供会員が有償ボランティアとして支援する市の制度です。

問 子育て相談専用ダイヤルの確認

施政方針にある「相談専用ダイヤル」とは、全ての子育て世代が使用ができる窓口と考えてよろしいですか。

答 新たな番号で開設します

12月定例会議にてご提案頂いた「子

育てコンシェルジュ」から検討。妊娠、出産、子育て期における子どもの発達や子育てのさまざまな相談を受け付けます。

問 ひとり親家庭の「小1の壁」解消へ

放課後児童クラブについて、ひとり親家庭を優先的に預けることができる新しいルールを。

答 しっかりと取り組むべき課題と認識します

施設の受け入れ可能人数を超えて抽選を行う場合には、ひとり親家庭の優先入所について決定することを今後、検討していきます。

問 訪問介護事業所の事業継続支援を

訪問介護の基本報酬引き下げにより、訪問介護の休廃業が過去最多となっています。

報酬引き下げの影響について、市内の訪問介護事業所の調査をしましたか。

事業継続のため、報酬引き下げによる減収分を補助するなど市の支援が必要ではないですか。

答 他市の支援事例を研究します

運営状況の聞き取りを行い、報酬引き下げで事業継続に影響が出ているという事業所もありました。

サービス低下につながりかねないと重く受け止め、日ごろから実状を掴むようにし

ます。

問 介護人材確保の具体策を

介護人材不足が深刻です。人材確保のため、就労支援金制度や介護職の有資格者掘り起こしのための福祉・介護人材バンク創設など具体策を講じてください。

答 高校生に介護の魅力を発信します

アンケートを実施し、実態把握をするとともに、将来の介護人材につなげるため、高校生たちに介護の仕事の魅力を伝える授業をしています。

ももがみ まな
百上 真奈 議員

質問項目

- 施政及び予算編成方針
- 持続可能な介護事業と介護人材確保
- 学校教育の充実及び教育環境整備



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

議会図書室で「政務活動費収支報告書」を公開します

各議員より提出された令和6年度の収支報告書等の写しが閲覧できます。

公開の目的	政務活動費の使途の透明性を確保するとともに、広く市民の皆さんに議員の調査研究活動等を知っていただくため。
閲覧の方法	場所：議会図書室（市役所本庁舎5階） 時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）
閲覧の対象となる文書	①収支報告書 ②行政視察報告書 ③研究研修報告書 ④政務活動費明細書 ⑤領収書又はこれに準ずる書類 ⑥その他添付書類
閲覧の開始時期	令和6年度分は 5月26日（月）から閲覧可能。
閲覧の注意事項等	1. 閲覧書類を閲覧場所の外へ持ち出すことはできません。 2. 閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、A3以下（白黒）一面につき10円が必要となります。 3. 文書の記載内容に伊賀市情報公開条例に規定する非公開情報が含まれている場合は、その箇所のみマスキング（墨塗り）をしています。
その他	市議会ホームページでは、6月中旬の公開を予定しています。



活動報告

出前講座

出前講座の報告書は、市議会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

伊賀市議会ホームページ▶



教育民生常任委員会

伊賀市社会福祉法人連絡会と意見交換会

令和7年1月20日（月）

「人材確保について」、「災害対応について（福祉避難所）」をテーマに出前講座を開催しました。

現在、どの事業所も人材不足が問題になっています。

連絡会からは、今後も外国人雇用を拡大していきたいとの意見を伺いました。

今後、伊賀市議会としては、福祉分野の安定した人材確保と、賃金を含めた処遇改善できる方法を議論していきます。



産業建設常任委員会

農業委員会と意見交換会

令和7年2月18日（火）

「農業農村等について」をテーマに出前講座を開催しました。

地域計画等の業務が増える中での農業委員への報酬のあり方、農業委員の女性登用についての方策、米価格の上昇、市道・農道の補修、農業委員会活動の広報の必要性等を一緒に検討しました。



研修会

議員人権研修

令和7年1月28日（火）

多様性を尊重し互いに認め合うために ～激変する情報環境とマイクロアグレッション防止の視点で～

講師：北口末広さん（近畿大学人権問題研究所特任主任教授）

インターネットの普及によって、生活のあらゆる場面で多様な情報を簡単に得ることができるようになりました。そのような環境のなかで、情報を正確にとる力、情報を批判的に見る力をさす、「情報リテラシー」の重要性を学びました。

また、情報が正しいか正しくないか、事実かどうかを確かめる前に、感情により判断してしまっていないか、また自分自身の偏見に付随した形で情報を吸収していないかを、何度も確認することが大切であることを学びました。

政治リーダーに求められるものは、時代認識、情報認識、人権認識の3つの認識であり、今後も、一人ひとりの人権意識と人権感覚の向上に伊賀市議会として努めていきます。



政策形成・立案能力向上研修会

令和7年2月5日（水）

一般質問における質問力強化

講師：川本達志さん（地方議員研究会統括コンサルタント）

伊賀市では持ち時間 45 分、事前通告制で、各議員が自らの政治理念の下、市政一般について執行部に答弁を求める形で「一般質問」をしています。

市民の代表である議員は、伊賀市を思い描く姿に近づけることをめざして一般質問に臨みます。たとえば継続的なテーマで質問を行うことで、執行部とも思いを共有できますし議員相互で理解を深め合うことにもつながります。

一方、講師から一般質問には限界があることも示唆いただきました。その分、議会内の常任委員会など組織として執行部と向き合うことの値打ちを学びました。

これからも質問力を磨くことを大切にしていきます。



ようこそ 伊賀市議会へ!



中瀬放課後児童クラブ「ネバーランド」、三訪放課後児童クラブ、西柘植放課後児童クラブのみなさんが、そろって議場見学に来てくれました!



令和7年3月26日



令和7年6月定例会議日程(予定)

会議期間22日間

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 本会議 (議案上程等)	6	7
8	9	10	11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14
15	16 本会議 (一般質問)	17 各常任委員会 (予算・決算を除く)	18 各常任委員会 (予算・決算を除く)	19 各常任委員会 (予算・決算を除く)	20 予算常任委員会	21
22	23	24	25	26 本会議 (採決等)	27	28
29	30	7/1	2	3	4	5

※本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。

※日程は、変更になる場合があります。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

編集 後記

時代の変化に取り残されないよう、昨今は様々な観点からのアップデートが欠かせません。2月3日には名張市議会議員との合同研修会、2月27日には三重県主催の伊賀地域人権まちづくりトップセミナー、どちらも「ハラスメント」に関わる研修を受講しました。

また伊賀市議会としても研修(p14で紹介)を実施しました。こうした機会を通じ、議員として成長していきたいものです。

さて令和7年度が始まりました。今年度、中学生議会や地域意見交換会を予定しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(西田方計)

次号は令和7年8月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

人と地域がつながって イキイキ活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介するシリーズ第8回。

今回は、伊賀市の最南部に位置する矢持住民自治協議会をご紹介します。

Q：地域の紹介をしてください。

A：矢持地域は伊賀市の最南部、川上ダムの上流域に位置し、霧生区、腰山区、諸木区、福川区の4区で構成された、人口約400人の高齢化率の高い地域です。

Q：特色ある活動を教えてください。

A：超高齢化地域であることから、高齢者の「見守り」と「地域防災」に力をいれています。地域行事として、夏祭りや文化祭のほか、走らない運動会として、「たるころがし」などの競技を考案し、楽しんでいます。

また、地域内にあるメナード青山リゾートと連携し、イベントを行ったり、住民が栽培した果実などを加工販売しています。

Q：防災についての取り組みはいかがですか。

A：災害支援が届きにくい中山間地域ということを理解し、公助が届くまでの間、個人や地域が耐え抜くため、地域住民ひとりひとりの避難行動調査や保存食糧調査など、自助、互助、共助の力を高める取り組みを行っています。



走らない運動会（たるころがし）



リゾートホテルで初日の出

Q：人口減少が急激に進む中、自治会活動で工夫していることはありますか。

A：役員会などの会議を削減し、SNSのグループトークの活用により、連絡や気づいたことなどを即時に発信し、共有を行っています。会議の削減により、生まれた時間を消防団や各種団体の悩みに耳を傾けることができ、今必要な課題解決に取り掛かっています。

Q：指定管理者制度を導入されてどう変わりましたか。

A：労務管理は全く初めてで、大変苦労した面はありますが、指定管理となったことで、区や、地域団体である「高齢者サロン」の現場に出向くことができ、住民と地区市民センター（職員）の距離が縮まり、課題発見や解決の糸口を見出すことにつながっています。

Q：今後の抱負をお聞かせください。

A：区で解決できないことを住民自治協議会が解決のためのテーブルを用意する、黒子役だと思っています。住民からの問い合わせに何でも答えられるよう勉強し、住民に頼られる存在をめざしています。高齢化・人口減少の課題先進地として、モデルケースの役目を果たしていきます。



地域で育てるブルーベリー